



一番手に入りやすい経済専門誌

『第一财经Yi Magazine』はローカルコンビニや書店でよく売られている月刊の経済雑誌。身近な生活テーマや中国ブームを、経済の観点からわかりやすくまとめる。

発行年 2003年
発行主体 上海第一财经传媒有限公司
料金 48元/冊

▼購入はコチラ



POINT デザインにこだわりあり

特集と絡めた毎号の表紙は、デザイン誌と違わぬ美しさ。記事中にもグラフや図解を多用し、文章を読まずとも何となく内容や意図が伝わるのがある。書評や旅行など連載コラムもあり。



特集 どんな記事が載っている?

- ・双減、から1年(2022年9月号)
- ・アリババはいつ成長株に戻るか(2022年9月号)
- ・人気のCitywalk、運営の難しさ(2022年9月号)
- ・2022年、中国消費の靱性試験(2022年10月号)

第一财经

Yi Magazine

▼オシャレ経済誌

中国のビジネス、経済誌は「財經」「商界」「第一财经」「環球財經」など多数発行されているが、最近雑誌新聞をほとんど街中や書店で見掛けなくなりました。そんな中、この『第一财经 Yi Magazine』は、今でもローカルのコンビニや書店で購入できる貴重な経済雑誌だ。

まずビジネス誌らしからぬオシャレな表紙に目を引かれる。紙面も写真や図解、グラフに大きくスペースを割き、すっきりと読みやすい。巨大メディア集団「上海文化広播影視集團有限公司(SMG)」が母体だからだろうか、かなりデザインや視覚効果にこだわった雑誌で、パラパラとめくるだけでも楽しい。

▼中国の今を包括的に紹介

同志では生活に身近なテーマを経済の視点から読み解く。2022年9月号の特集は「双減から1年」。昨年中国で実施された大きな教育改革をテーマに、教育業界、学校、教師それぞれの立場からこの1年の変化を紹介している。改革の歩みが記された年表や、各教育企業の業績の変化が記されたデータはこれだけでもかなりタメになる内容だ。国内公立・私立学校の制度改革など、経済からは離れるが中国を理解するには必要などころまでしっかり解説してくれているのがある。日本の雑誌でいうと『プレジデント』のような親しみやすさと読みやすさがある同誌。中国のトレンドを知るための雑誌としてもオススメしたい一冊だ。



財經 財新

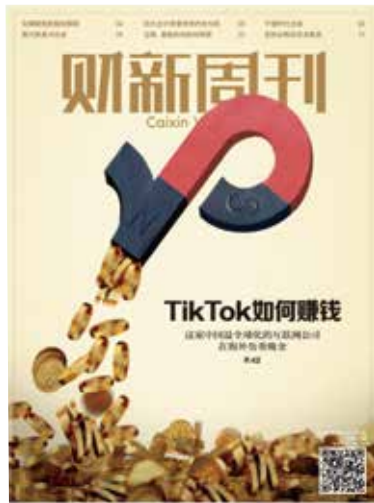
金融を徹底分析

1998年に創刊された専門誌。中国証券市場が発行しているだけあって、投資・財テクに関する話題がたっぷり。

▼購入はコチラ



発行年 1998年
発行主体 中国証券市場研究設計中心
料金 30元/冊



財新 所新

デジタルメディアを駆使

『財新』は各企業のデータ収集+ニュース配信に特化した雑誌。専用アプリで配信する記事は、動画や音声つきなどわかりやすい工夫がたくさん。国内外の企業ニュースを取り扱う。

▼アプリはコチラ



発行年 2006年
発行主体 財新伝媒有限公司
料金 68元/冊(アプリ利用込)



POINT

投資家愛読の一冊

古くから金融市場の専門誌として愛され続ける一冊。独自取材と独自の観点を掲げ、過去に腐敗や粉飾決済を暴いたことも。

特集

どんな記事が載っている?

- ・老後の杞憂に対する金融処方箋(2022年9月19日号)
- ・3億人の新市民を探せ:金融市場の低下と経済の向上(2022年9月19日号)

▼影響力大のメディア

『財新』は中国で最も有名な経済誌の一つ。1998年創刊以来、投資家や経営層に広く読まれてきた週刊誌だ。

試しに電子版を買ってみると、何と総ページ数3500ページというボリューム。加えて写真やグラフがほとんどなく、文字ばかりの紙面は読むのに相当努力を要する。老後の備えや各都市の財政事情などに深く切り込む専門誌ならではの記事だが、読む方も相当の語学力と知識が必要だろう。

このメディアは独自取材と独自の観点をモットーに掲げ、企業の腐敗を暴き、業界に大激震をもたらしたこともあるという。気骨ある取材と文体は、市場への影響も大きいといわれている。これが読めるようになれば中国経済通になれるかも!?

▼アプリで知る中国経済

週刊誌『財新』は紙でも販売しているが、アプリでの見やすさを追求した電子版も魅力的だ。月68元のアプリ利用料で、電子版の雑誌を含めアプリ内の記事が全部見られるようになる。

POINT

世界中のニュースを扱う

国内のニュースだけでなく、海外の経済動向も積極的に報じる。日本某ビジネス誌にも寄稿するなど、世界に開かれたメディアだ。

特集

どんな記事が載っている?

- ・TikTokはどう稼ぐか(2022年10月10日号)
- ・顔認証攻防戦(2022年9月26日号)



▼アプリで知る中国経済

表紙が動く電子版雑誌は、すべての記事に音声が付き、一部には動画まで添えられている。図解が少なく文章が長いので、読むのに少々苦戦するが、音声と一緒に読めば理解しやすい。またアプリでは記事以外のニュースも豊富で、一部は英語版もあり。同メディアの強みである各種統計データはマーケティングにも役立つ。また、中国のニュースアプリで経済をチェックしている人は、こちらのアプリにバージョンアップしてみてもいいか?